

注3

大学番号：私478

[平成26年度設置]

計画の区分：学部学科設置

注1

届出

西九州大学 健康福祉学部 スポーツ健康福祉学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人永原学園
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

事務局長	キタジマ 北島	タダノリ 忠則
総務課長	ヤマナカ 山中	タケマサ 健正
電話番号	0952-52-4191	
（夜間）	0952-52-4191	
F A X	0952-52-4194	
e-mail	syomu@nisikyu-u.ac.jp	

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 永原学園

(2) 大学名 西九州大学

(3) 大学の位置

〒842-8585 佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フクモト ユウジ) 福元 裕二 (平成20年4月)		
学長	(ムカイ ツネヒロ) 向井 常博 (平成24年4月)		
学部長	(クラタ ヤスミチ) 倉田 康路 (平成26年4月)		
学科長	(フクモト トシオ) 福本 敏雄 (平成26年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
健康福祉学部 スポーツ健康福祉学科 学士(スポーツ健康福祉学)	4年	50人	— 年次人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	50人	人	()	()	0.94倍	
志願者数	()	()	()	()	()	()	56	()	()	()		
受験者数	()	()	()	()	()	()	56	()	()	()		
合格者数	()	()	()	()	()	()	56	()	()	()		
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	47	()	()	()		
入学定員超過率 B/A							0.94					

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[0]	[-]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[0]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	0人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		#DIV/0! %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	47人	0人	平成26年度	0人	0人		0 %
合計	47人	0人					0 %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<健康福祉学部 スポーツ健康福祉学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	基礎演習あすなろう	1通	1			3 6	1	1				教育効果を考慮し、5名で担当(26)
	あすなろう体験Ⅰ(基礎)	1通	1			3 6	1	1				教育効果を考慮し、5名で担当(26)
	あすなろう体験Ⅱ(実践)	2通		1		2	1					
	あすなろう体験Ⅲ(応用実践)	3通		1		2	1					
	心理学入門	1・2後		2								兼1
	現代社会と倫理	1・2前		2								兼1
	人間論と現代思想	1・2後		2								兼1
	文学と言語	1・2前		2								兼1
	生涯学習論	1・2前		2								兼1
	人間の歴史	1・2後		2								兼1
	脳と認知科学	1・2後		2								兼3
	異文化理解	1・2前		2								兼1
	海外研修	1・2・3・4通		1								兼1
	法学	1・2前		2								兼1
	日本国憲法	1・2後		2								兼1
	社会学入門	1・2前		2								兼1
	暮らしと経済	1・2前		2								兼1
	ジェンダー論	1・2後		2								兼1
	少子高齢化社会と人間	1・2後		2								兼1
	人類学	1・2後		2								兼1
	生命のしくみ	1・2前		2								兼1
	生物と環境	1・2後		2								兼1
	化学入門	1・2前		2								兼1
	統計学の基礎	1・2前		2								兼1
	物理学入門	1・2前		2								兼1
	地球環境科学	1・2後		2								兼1
	総合英語Ⅰ	1後	1									兼3
	総合英語Ⅱ	2後	1									兼3
	英語表現Ⅰ	1前	1									兼3
	英語表現Ⅱ	2前	1									兼3
	英語会話Ⅰ	1前		1								兼2
	英語会話Ⅱ	1後		1								兼2
	上級英語Ⅰ	3後		1								兼1
	上級英語Ⅱ	4前		1								兼1
	ドイツ語(初級)	1前		1								兼1
	ドイツ語(中級)	1後		1								兼1
	フランス語(初級)	1前		1								兼1
	フランス語(中級)	1後		1								兼1
	中国語(初級)	1前		1								兼1
	中国語(中級)	1後		1								兼1
	韓国語(初級)	1前		1								兼1
	韓国語(中級)	1後		1								兼1
	健康・スポーツ科学	1後		2								兼1
	フィットネス・スポーツ	1前	1				1					兼1
	ウェルネス・スポーツ	2通	1			1						兼1
	情報処理基礎	1通	2									兼1
	小計(46科目)		10	59	0	4 6	2	1	0	0		兼34

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
	健康福祉概論	1前	2			1	1					兼2 兼1	教育効果を考慮し、兼任教員を1名追加した。
	生活支援学総論	1後	2			1							
	現代社会と福祉Ⅰ	1前	2			1							
	現代社会と福祉Ⅱ	1後		2		1							
	スポーツ健康福祉学概論	1前	2			2							
	スポーツ健康福祉学演習Ⅰ	3通	2			6	2	1					
	スポーツ健康福祉学演習Ⅱ（含卒業）	4通	4			6	2	1					
	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ	1前		2		1							
	人体の構造と機能及び疾病Ⅱ	1後		2		1							
	心理学Ⅰ	1前		2								兼1	
	心理学Ⅱ	1後		2								兼1	
	生涯発達心理学	1後		2								兼1	
	社会理論と社会システム	1後		2								兼1	
	社会調査の基礎	3前		2								兼1	
	地域福祉の理論と方法Ⅰ	3後		2								兼1	
	地域福祉の理論と方法Ⅱ	4前		2								兼1	
	福祉サービスの組織と経営	3後		2								兼1	
	福祉行財政論	4前		1								兼1	
	福祉計画論	4前		1								兼1	
	社会保障論Ⅰ	2前		2								兼1	
	社会保障論Ⅱ	2後		2								兼1	
	高齢者福祉論	2前		2								兼2 兼1	教育効果を考慮し、兼任教員2名のオムニバスで開講する。
	介護論	2後		2								兼2 兼1	教育効果を考慮し、兼任教員2名のオムニバスで開講する。
	障害者福祉論	2前		2								兼1	
	児童・家庭福祉論	2前		2								兼1	
	公的扶助論	3前		2								兼1	
	保健医療サービス	3後		2								兼1	
	就労支援サービス	4前		1								兼1	
	権利擁護と成年後見制度	2後		2								兼2	
	更生保護制度	4前		1								兼1	
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1前		2								兼1	
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	1後		2								兼1	
	相談援助の理論と方法Ⅰ	2前		2								兼1	
	相談援助の理論と方法Ⅱ	2後		2								兼1	
	相談援助の理論と方法Ⅲ	3前		2								兼1	
	相談援助の理論と方法Ⅳ	3後		2								兼1	
	相談援助演習Ⅰ	1後 1前		1				1				兼5	社会福祉士国家試験の受験に係る科目のため、学生が資格希望を考慮する猶予期間を設けるため開講を後期に変更した。 教員の配置については、履修を20名程度に制限する予定であり、また履修生への指導を綿密にするために専任教員1名で担当する。
	相談援助演習Ⅱ	2前		1								兼4 兼5	兼任教員が本学を退職するため
	相談援助演習Ⅲ	2後		1								兼4 兼5	兼任教員が本学を退職するため
	相談援助演習Ⅳ	3前		1				1				兼3 兼4	兼任教員が本学を退職するため
	相談援助演習Ⅴ	3後		1								兼4 兼5	兼任教員が本学を退職するため
	社会福祉援助技術実習指導Ⅰ	2通		2				1				兼4 兼5	兼任教員が本学を退職するため
	社会福祉援助技術実習指導Ⅱ	3前		2				1				兼4 兼5	兼任教員が本学を退職するため
	社会福祉援助技術実習指導Ⅲ	3後		2				1				兼4 兼5	兼任教員が本学を退職するため
	社会福祉援助技術実習	3通		4			1	1				兼5 兼7	兼任教員が本学を退職するため
	運動学（運動方法学を含む）	2後		2		1							
	生理学（運動生理学を含む）	1前		2		1							
	バイオメカニクス	3前		2								兼1	
	コーチング学	2後		2								兼1	
	スポーツ心理学	2後		2								兼1	
	スポーツ社会学	3前		2				1					
	スポーツマネジメント論	3後		2				1					
	スポーツ行政学	2後		2								兼1	
	スポーツ栄養学	2前		2								兼1	
	生涯スポーツ論	1後		2				1					
	健康管理学	1後		2								兼1	
	衛生学（公衆衛生学を含む）	2前		2		1							

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
15科目	143科目	科目	158科目	科目	科目	科目	科目	
				[]	[]	[]	[]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	37,683 m ²	0 m ²	0 m ²	37,683 m ²				
	運動場用地	18,813 m ²	0 m ²	0 m ²	18,813 m ²				
	小 計	56,496 m ²	0 m ²	0 m ²	56,496 m ²				
	そ の 他	49,832 m ²	0 m ²	0 m ²	49,832 m ²				
	合 計	106,328 m ²	0 m ²	0 m ²	106,328 m ²				
(2) 校舎		専 用 (17,430 m ²)	共 用 (0 m ²)	共用する他の学校等の専用 (0 m ²)	計 (17,430 m ²)	大学全体 共用			
(3) 教室等	講義室 43室	演習室 106室	実験実習室 25室	情報処理学習施設 4室 (補助職員 2人)	語学学習施設 2室 (補助職員 1人)	大学全体			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称 健康福祉学部 スポーツ健康福祉学科			室 数 9 室		申請学科 全体			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書 学術雑誌	
		健康福祉学部 スポーツ健康福祉学科	6,899 [265] (6,074 [240])	46 [12] (35 [8])	5 [5] (4 [4])	271 (264)	747 (677)		0 (0)
	計	6,899 [265] (6,074 [240])	46 [12] (35 [8])	5 [5] (4 [4])	271 (264)	747 (677)	0 (0)		
(6) 図書館	面 積 1,568 m ²	閱 覧 座 席 数 262席	収 納 可 能 冊 数 155,000冊		大学全体				
(7) 体育館	面 積 2,680 m ²	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	第2体育館 587m ²	トレーニングセンター 242m ²	テニスコート 2面	弓道場 89m ²					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	申請専攻 全体
		教員1人当り研究費等	40千円	40千円	図書購入費	400千円	400千円	400千円	
		共同研究費等	1,500千円	500千円	設備購入費	650千円	300千円	300千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 810千円	第2年次 610千円	第3年次 —千円	第4年次 —千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常経費補助金、雑収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	西九州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院									
生活支援科学研究科									
健康栄養学専攻	2	2	—	4	修士 (健康栄養学)	0.50	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	※健康福祉学専攻 平成25年度まで 1専攻コースを設置
健康福祉学専攻	2	3	—	6	修士 (健康福祉学)	5.66	平成11年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
臨床心理学専攻	2	4	—	8	修士 (臨床心理学)	1.25	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
リハビリテーション学専攻	2	3	—	6	修士 (リハビリテーション学)	1.66	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
健康栄養学部									
健康栄養学科	4	120	—	480	学士 (健康栄養学)	1.01	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
健康福祉学部									
社会福祉学科	4	80	3年次 10人	340	学士 (社会福祉学)	0.80	昭和49年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	※社会福祉学科 平成23年度～25年度 入定員120名 平成26年度～ 入定員80名
リハビリテーション学部									
リハビリテーション学科									
理学療法学専攻	4	40	—	160	学士 (理学療法学)	1.14	平成19年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
作業療法学専攻	4	40	—	160	学士 (作業療法学)	0.96	平成19年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
子ども学部									
子ども学科	4	80	3年次 10人	340	学士 (子ども学)	1.10	平成21年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
心理カウンセリング学科	4	40	—	160	学士 (臨床心理学)	1.20	平成26年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
大学の名称	西九州大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
食物栄養学科	2	60	—	120	短期大学士 (栄養学)	0.66	昭和38年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
生活福祉学科	2	40	—	80	短期大学士 (介護福祉学)	0.82	昭和39年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
幼児保育学科	2	90	—	180	短期大学士 (保育学)	1.02	昭和40年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	

5 教員組織の状況

<健康福祉学部 スポーツ健康福祉学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	古川 孝順	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎） あすなろう体験Ⅱ（実践） あすなろう体験Ⅲ（応用実践） 生活支援学総論 現代社会と福祉Ⅰ 現代社会と福祉Ⅱ 地域スポーツ実践演習 インターンシップ スポーツ健康福祉学演習Ⅰ スポーツ健康福祉学演習Ⅱ（含卒業研究）	専	教授	古川 孝順	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎）	別の担当教員5名によるクラス分けで充足が可能であったため担当しない。(26)
専	教授	米田 郁夫	平成26年4月	健康福祉概論 ※ 基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎） あすなろう体験Ⅱ（実践） あすなろう体験Ⅲ（応用実践） リハビリテーション論 ※ ユニバーサルデザイン概論 ユニバーサルデザイン各論 健康生活と福祉技術 地域スポーツ実践演習 インターンシップ スポーツ健康福祉学演習Ⅰ スポーツ健康福祉学演習Ⅱ（含卒業研究）						
専	教授	福本 敏雄	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎） ウェルネス・スポーツ スポーツ健康福祉学概論 ※ 運動学（運動方法学を含む） 運動方法学演習1（体づくり） 運動方法学演習2（器械運動） 保健体育科教育法Ⅰ 保健体育科教育法Ⅱ 保健体育科教育法Ⅲ 地域スポーツ実践演習 インターンシップ スポーツ健康福祉学演習Ⅰ スポーツ健康福祉学演習Ⅱ（含卒業研究） 教職実践演習（中・高）※						

専	教授	管原 正志	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎） スポーツ健康福祉学概論 ※ 生理学（運動生理学を含む） 衛生学（公衆衛生学を含む） 地域スポーツ実践演習 インターンシップ スポーツ健康福祉学演習Ⅰ スポーツ健康福祉学演習Ⅱ（含卒業研究）						
専	教授	庄野 菜穂子	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎） 運動処方 運動負荷試験 地域スポーツ実践演習 インターンシップ スポーツ健康福祉学演習Ⅰ スポーツ健康福祉学演習Ⅱ（含卒業研究）	専	教授	庄野 菜穂子	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎）	別の担当教員5名によるクラス分けで充足が可能であったため担当しない。(26)
専	教授	井上 俊孝	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎） 人体の構造と機能及び疾病Ⅰ 人体の構造と機能及び疾病Ⅱ 救急処置（学校安全を含む） 地域スポーツ実践演習 インターンシップ スポーツ健康福祉学演習Ⅰ スポーツ健康福祉学演習Ⅱ（含卒業研究）	専	教授	井上 俊孝	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎）	別の担当教員5名によるクラス分けで充足が可能であったため担当しない。(26)

専	准教授	近藤 芳昭	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎） 測定評価 健康産業施設等現場実習 健康運動総合演習Ⅰ 健康運動総合演習Ⅱ 地域スポーツ実践演習 インターンシップ スポーツ健康福祉学演習Ⅰ スポーツ健康福祉学演習Ⅱ（卒業研究）						
専	准教授	山田 力也	平成26年4月	健康福祉概論 ※ あすなろう体験Ⅱ（実践） あすなろう体験Ⅲ（応用実践） フィットネス・スポーツ スポーツ社会学 スポーツマネジメント論 生涯スポーツ論 運動方法学演習Ⅰ（99「フィット・スポーツ」） レクリエーション支援演習 アダプテッド・スポーツ論 社会福祉援助技術実習 地域スポーツ実践演習 インターンシップ スポーツ健康福祉学演習Ⅰ スポーツ健康福祉学演習Ⅱ（卒業研究）						
専	講師	中山 正教	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎） 相談援助演習Ⅳ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術実習 運動方法学演習Ⅳ（水泳） 健康産業施設等現場実習 高齢者の健康と運動 地域スポーツ実践演習 インターンシップ スポーツ健康福祉学演習Ⅰ スポーツ健康福祉学演習Ⅱ（卒業研究）						
兼任	教授	倉田 康路	平成26年4月	地域福祉の理論と方法Ⅰ 福祉計画論 高齢者福祉論 社会福祉援助技術実習	兼任	教授	倉田 康路	平成26年4月	高齢者福祉論 ※	兼任教員2名のオムニバスで担当 (26)
				兼任	准教授	江口 賀子	平成26年4月	高齢者福祉論 ※		
兼任	教授	井本 浩之	平成26年4月	現代社会と倫理 人間論と現代思想						
兼任	教授	酒井 出	平成26年4月	社会学入門 社会理論と社会システム 社会調査の基礎						
兼任	教授	平塚 良子	平成26年4月	健康福祉概論 ※	兼任	教授	倉田 康路	平成26年4月	健康福祉概論 ※	別の兼任教員2名で担当 (26)
				兼任	教授	田中 豊治	平成26年4月	健康福祉概論 ※		

兼任	教授	滝口 真	平成26年4月	障害者福祉論 就労支援サービス 相談援助の基礎と専門職Ⅰ 相談援助の基礎と専門職Ⅱ 相談援助演習Ⅱ 相談援助演習Ⅴ	兼任 講師	大川 絹代	平成26年4月	障害者福祉論	兼任教員から兼任教員へ変更 (26)
兼任	准教授	田代 勝良	平成26年4月	福祉行財政論 児童・家庭福祉論 相談援助演習Ⅱ 相談援助演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習	兼任 教授 兼任 講師	田中 豊治 尾里 育士	平成26年4月 平成26年4月	福祉行財政論 児童・家庭福祉論	田代勝良准教授が定年退職のため、 兼任教員と兼任教員へ変更 (26) 複数の教員にて担当をする ため教員の補充は行わない。 (26)
兼任	准教授	渡邊 真理子	平成26年4月	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 上級英語Ⅰ	兼任 講師 兼任 講師	大城 綾子 大城 綾子	平成26年4月 平成26年4月	総合英語Ⅰ 英語表現Ⅰ	他学部他学科の同授業も担当するた め、運用上の理由により平成26年度 は大城非常勤講師が担当 (26) 他学部他学科の同授業も担当するた め、運用上の理由により平成26年度 は大城非常勤講師が担当 (26)
兼任	准教授	江口 賀子	平成26年4月	介護論 更生保護制度 相談援助演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術実習	兼任 教授 兼任 准教授	倉田 康路 江口 賀子	平成26年4月 平成26年4月	介護論 ※ 介護論 ※	兼任教員2名のオムニバスで担当 (26)
兼任	准教授	山田 美保	平成26年4月	保健医療サービス 相談援助の理論と方法Ⅰ 相談援助の理論と方法Ⅱ 相談援助の理論と方法Ⅲ 相談援助の理論と方法Ⅳ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術実習	兼任 講師 兼任 講師 兼任 講師	山田 美保 占部 尊士 山田 美保	平成26年4月 平成26年4月 平成26年4月	保健医療サービス 相談援助の理論と方法Ⅰ 相談援助の理論と方法Ⅱ 相談援助の理論と方法Ⅲ 相談援助の理論と方法Ⅳ	山田美保准教授が、平成26年3月31 付け退職したため、一部科目は兼任 教員として担当し、その他の科目に ついては別の兼任教員が担当予定。 (26) 複数の教員にて担当をする ため教員の補充は行わない。 (26)
兼任	講師	岡部 由紀夫	平成26年4月	少子高齢化社会と人間 地域福祉の理論と方法Ⅱ 権利擁護と成年後見制度 ※ 相談援助演習Ⅱ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術実習					
兼任	講師	加藤 稔子	平成26年4月	相談援助演習Ⅰ	専任 講師	中山 正教	平成26年4月	相談援助演習Ⅰ	兼任教員から専任教員へ変更 (26)
				社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 公的扶助論					

兼任	講師	木場 千春	平成26年4月	相談援助演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術実習						
兼任	教授	長野 恵子	平成26年4月	心理学Ⅱ						
兼任	教授	古賀 靖之	平成26年4月	精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ						
兼任	教授	西村 喜文	平成26年4月	生涯発達心理学 教育心理学 教職実践演習(中・高)※						
兼任	教授	松田 次生	平成26年4月	教職実践演習(中・高)※						
兼任	教授	平川 忠敏	平成26年4月	心理学入門						
兼任	教授	池田 久剛	平成26年4月	心理学Ⅰ						
兼任	准教授	青木 研作	平成26年4月	教職論 教育原論 教育制度論 教職実践演習(中・高)※ 教育実習事前事後指導 教育実習						
兼任	教授	香川 せつ子	平成26年4月	ジェンダー論						
兼任	教授	赤星 まゆみ	平成26年4月	教育課程論						
兼任	准教授	上赤 博文	平成26年4月	地球環境科学						
兼任	准教授	佐藤 範男	平成26年4月	特別活動論						
兼任	講師	松本 大輔	平成26年4月	運動方法論演習5(バスケットボール)						
兼任	教授	高橋 忠夫	平成26年4月	生命のしくみ 生物と環境	兼任	講師	高橋 忠夫	平成26年4月	生命のしくみ 生物と環境	平成26年3月31日本学を退職。 退職後も非常勤講師として継続担当 いただく。(26)
兼任	教授	安田 みどり	平成26年4月	化学入門	兼任	講師	田端 正明	平成26年4月	化学入門	兼任教員から兼任教員へ変更(26)
兼任	教授	馬場 佐和子	平成26年4月	総合英語Ⅰ 英語表現Ⅰ 上級英語Ⅱ	兼任	講師	園部 ニコル	平成26年4月	総合英語Ⅰ	馬場佐和子教授が平成26年3月31日 付け退職したため、別の兼任・兼任 教員が担当。(26)
					兼任	講師	幸山 智子	平成26年4月	英語表現Ⅰ	
					兼任	准教授	渡邊 真理子	平成26年4月	上級英語Ⅱ	
兼任	教授	石松 秀	平成26年4月	健康管理学						
兼任	准教授	堀田 徳子	平成26年4月	スポーツ栄養学						
兼任	助教	高元 宗一郎	平成26年4月	情報処理基礎 健康福祉情報処理						
兼任	教授	ハドソン マーク	平成26年4月	海外研修 人類学						
兼任	准教授	田平 隆行	平成26年4月	脳と認知科学 ※						
兼任	講師	濱田 隆	平成26年4月	文学と言語						
兼任	講師	末寄 雅美	平成26年4月	生涯学習論						
兼任	講師	川副 義政	平成26年4月	人間の歴史						
兼任	講師	西本 加奈	平成26年4月	脳と認知科学 ※	兼任	講師	長谷川 隆史	平成26年4月	脳と認知科学 ※	西本非常勤講師辞退のため。(26)

兼任	講師	山田 麻和	平成26年4月	脳と認知科学 ※					
兼任	講師	平 誠一	平成26年4月	法学 日本国憲法 <small>権利擁護と成年後見制度 ※</small>					
兼任	講師	権藤 幸憲	平成26年4月	くらしと経済					
兼任	講師	上山 和俊	平成26年4月	統計学の基礎					
兼任	講師	福井 市男	平成26年4月	物理学入門					
兼任	講師	雨森 未来	平成26年4月	総合英語 I 英語表現 I					
兼任	講師	大城 綾子	平成26年4月	総合英語 II 英語表現 II					
兼任	講師	小池 知英	平成26年4月	総合英語 II 英語表現 II					
兼任	講師	園部 ニコル	平成26年4月	英語会話 I 英語会話 II	兼任	講師	園部 ニコル	平成26年4月	英語会話 I 英語会話 II
兼任	講師	ガレス・ ニューボルド	平成26年4月	英語会話 I 英語会話 II					
兼任	講師	日高 雅彦	平成26年4月	ドイツ語 (初級) ドイツ語 (中級)					
兼任	講師	前川 完	平成26年4月	フランス語 (初級) フランス語 (中級)					
兼任	講師	荒木 雪葉	平成26年4月	異文化理解 中国語 (初級) 中国語 (中級)					
兼任	講師	文 芝瑛	平成26年4月	韓国語 (初級) 韓国語 (中級)					
兼任	講師	池田 知子	平成26年4月	健康・スポーツ科学					
兼任	講師	片渕 賢司	平成26年4月	福祉サービスの組織と経営					
兼任	講師	井上 伸一	平成26年4月	バイオメカニクス					
兼任	講師	池上 寿伸	平成26年4月	コーチング学					
兼任	講師	山津 幸司	平成26年4月	ウェルネス・スポーツ スポーツ心理学					
兼任	講師	堤 公一	平成26年4月	フィットネス・スポーツ					
兼任	講師	谷口 勇一	平成26年4月	スポーツ行政学					
兼任	講師	栗原 淳	平成26年4月	学校保健 保健体育科教育法IV					
兼任	講師	八嶋 文雄	平成26年4月	運動方法論演習3 (陸上)					
兼任	講師	森保 洋	平成26年4月	運動方法論演習6 (サッカー)					
兼任	講師	町田 正直	平成26年4月	運動方法論演習7 (柔道)					
兼任	講師	町田 由紀子	平成26年4月	健康体づくり論					
兼任	講師	池田 孝博	平成26年4月	運動方法論演習8 (剣道) 発育発達とスポーツ					
兼任	講師	大西 真果	平成26年4月	運動方法論演習9 (ダンス)					
兼任	講師	鶴田 純子	平成26年4月	運動方法論演習10 (健康体づくり)					

平成26年4月1日健康栄養学部健康栄養学科専任講師に就任 (26)

兼任	講師	音成 道彦	平成26年4月	運動方法学演習12(キャンプ) 運動方法学演習13(スキー)						
兼任	講師	添田 譲二	平成26年4月	レクリエーション支援論						
兼任	講師	長住 達樹	平成26年4月	リハビリテーション論 ※	兼任	教授	大川 裕行	平成26年4月	リハビリテーション論 ※	兼任教員から兼任教員へ変更 (26)
兼任	講師	園田 貴章	平成26年4月	教育方法論						
兼任	講師	村山 詩帆	平成26年4月	生徒指導論 進路指導論	兼任	講師	村山 詩帆	平成26年4月	生徒指導論 ※	教育効果を考慮し、兼任教員 2名のオムニバスで開講。 (26)
					兼任	講師	黒川 雅幸	平成26年4月	生徒指導論 ※	
兼任	講師	吉村 春生	平成26年4月	教育相談						
兼任	講師	小林 万里子	平成26年4月	道徳教育指導論						
兼任	講師	大川 絹代	平成26年4月	相談援助演習Ⅰ 相談援助演習Ⅱ 相談援助演習Ⅲ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ	専任	講師	中山 正教	平成26年4月	相談援助演習Ⅰ	兼任教員から専任教員へ変更 (26)
兼任	講師	松尾 孝一	平成26年4月	社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術実習						
兼任	講師	久保 英樹	平成26年4月	相談援助演習Ⅰ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ	専任	講師	中山 正教	平成26年4月	相談援助演習Ⅰ	兼任教員から専任教員へ変更 (26)
兼任	講師	土井 幸治	平成26年4月	相談援助演習Ⅰ 相談援助演習Ⅲ	専任	講師	中山 正教	平成26年4月	相談援助演習Ⅰ	兼任教員から専任教員へ変更 (26)
兼任	講師	笠 修彰	平成26年4月	相談援助演習Ⅰ	専任	講師	中山 正教	平成26年4月	相談援助演習Ⅰ	兼任教員から専任教員へ変更 (26)
兼任	講師	大西 良	平成26年4月	相談援助演習Ⅱ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ 健康福祉統計法						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
6	2	1	0	9							
(6)	(2)	(1)	(0)	(9)	[]	[]	[]	[]	[]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成26年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<健康福祉学部 スポーツ健康福祉学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>西九州大学ファカルティ・ディベロップメント委員会を置き、FD活動を実施している。 ※西九州大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程を添付</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度は4、6、7、8、10、11月及び1月に開催。平成26年5月下旬開催予定。 ・副学長が委員長、各学部教員14人、事務局長1人の委員構成だが、平成26年4月以降は健康栄養学部長、スポーツ健康福祉学科の委員1人及び心理カウンセリング学科の委員1人を加え、総勢18人となり、17人の教員が参加する。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期目標・中期計画に基づくアクションプログラムの25年度活動状況の確認と26年度活動計画について ・第2次中期目標・中期計画の状況確認と第3次中期目標・中期計画について ・FD研修会の開催について ・教育研究活動の活性化について <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成25年度採択「地（知）の拠点整備事業（COC事業）」についての情報共有と学内コンセンサスの醸成のためのFD・SD研修会 2) 地域における実践型教育の展開についてのFD・SDフォーラム（佐賀大学と共催） 3) 教育改善における到達目標の設定方法などについての実績に基づく講演会 <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事業概要及び個別プロジェクトについての説明と質疑応答 2) 基調講演及びパネルディスカッション 3) 講演会形式 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成25年8月開催。専任教員・職員の6割程度参加。 2) 平成26年1月開催。大学教職員や自治体関係者、学生が100人程度参加（うち本学教職員53人）。 3) 平成26年1月開催。専任教員の5割程度参加。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p>
--

- 1) COC事業についての全体説明を経て、全学部学科に取組のためのワーキンググループを結成し、具体的な事業計画を各学科の個別授業に落とし込むための実施計画を作成した。新年度より全学部でフィールドを対象とした授業案に準拠した事業展開を実施している。
- 2) 上記ワーキンググループが本学におけるカリキュラム改革、授業改革計画を立案するに際して、地域における実践型教育のトップランナーの一つである「北九州大学地域創生学群」の取組を参考にするために実施したFD活動であった。FD後は学年間の交流を可能とするカリキュラム構成など、フィールドを対象とした授業の在り方の改善につながっている。
- 3) 本学は大学における学修到達度の可視化を計画しており、講演会の内容もその一部として実施した。FD後は、担当部局（FD委員会・全学教務委員会）を中心に学修到達度の可視化に向けて諸準備に入っている。学修行動実態調査等のIR活動に基づいた3ポリシーの見直しを開始した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前学期と後学期のそれぞれに、中間（記述式、前期6月、後期11月）と学期末（マークシート式と記述式の併用、前期7月、後期1月）の2回実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員の集計結果について当該教員へ紙面にて周知するとともに、学生も閲覧できるよう図書館で公開。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
別紙のとおり
- ② 自己点検・評価報告書
- ・平成26～29年度対象の第3次中期目標・中期計画を作成し、また毎年度にアクションプログラムを作成している。
平成26年度アクションプログラムは以下のとおり。
- a 公表（予定）時期
- ・平成29年6月 公表（予定）
- b 公表方法
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成29年6月末を予定）
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・平成29年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (有)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ()

別紙

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

健康福祉学部スポーツ健康福祉学科は、入学定員50名に対して47名の入学生を迎え、平成26年4月に計画通り開設した。2年目以降は、大学入試センター試験を利用した入学試験を新たに実施することにしており、初年度の志願者動向を基に効果的な広報活動及び入試を行うことで定員確保が達成できるよう努めていきたい。

教員組織については、設置計画通り9名の専任教員（教授6名、准教授2名、講師1名）で構成できている。第1回目のスポーツ健康福祉学科会議を4月3日に開催、以降も週1回の開催を定例化し、学生の動向を含めた情報交換と学科運営に関する共通理解を図っている。また、4月17日には、健康福祉学部教授会が開催され社会福祉学科との連携及び学部運営について確認を行った。

授業の開講状況については、設置計画通りのカリキュラムに沿った授業を開講している。なお、キャンパス整備状況においては、グラウンド及び体育館等を中心とする体育・スポーツ施設整備が完了し、さらに、講義室及び研究室を備えた鉄筋コンクリート造5階建ての新校舎が年内には完成予定である。

以上、開設初年度としての新入生は定員に満たなかったものの、教員組織をはじめ、授業の開講状況については設置計画通りに進んでいる。今後も、新学科専任教員を中心に既存の学部学科と連携を図りながら、設置の趣旨・目的の達成に向け努めていきたい。

西九州大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程

(趣旨)

第1条 西九州大学(以下「本学」という。)のファカルティ・ディベロップメント委員会(以下「委員会」という。)に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 委員会は、本学の教育の理念・目標及び教育内容・方法に関する組織的な研究、研修の円滑な実施を図ることを目的とする。

(業務)

第3条 委員会は、前条に掲げる目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 定期的なファカルティ・ディベロップメント講演会、研修会等の企画及び実施に関すること。
- (2) その他本学のファカルティ・ディベロップメントに関すること。

(組織)

第4条 委員会は次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 副学長
- (2) 生活支援科学研究科長
- (3) 各学部長
- (4) 学務部長
- (5) 学務部副部長
- (6) 各学科から選出された専任教員2人
- (7) 事務局長

(任期)

第5条 前条第6号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

- 2 前条第6号の委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第6条 委員会には委員長を置き、委員長は副学長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代行する。

(会議の開催及び議決)

第7条 委員会は、委員長が必要と認めたとき、又は過半数の委員から要請があったときに、委員長が招集する。

- 2 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第8条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(専門委員会)

第9条 事業を円滑に遂行するために、委員会が必要と認めたときは専門委員会を置くことができる。

- 2 委員会が必要と認めた時は、専門委員会に委員以外の者を加えることができる。

(事務局)

第10条 委員会に関する事務は、教務課において処理する。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則 (平成21年7月16日 制定)

- 1 この規程は、平成21年7月16日から施行し、平成21年4月1日から適用する。
- 2 この規程施行後、最初に委嘱される第4条第1項第5号に規定する委員の任期は、第5条第1項の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。

附 則 (平成24年5月17日)

この規程は、平成24年5月17日から施行し、平成24年4月1日から適用する。

附 則 (平成26年3月6日)

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 社会福祉学科、スポーツ健康福祉学科及び心理カウンセリング学科の委員は、第4条第1項第6号の規定にかかわらず当分の間1人とする。